

## 平成 29 年度プロジェクト研究実績報告書

<b>【研究課題】</b>	千葉市立稲毛高校との高大連携に関わる研究事業
<b>【研究代表者】</b>	鈴木理枝 (東京情報大学・教授)
<b>【研究分担者】</b>	加納佳代子 (東京情報大学・特命副学長 (看護学部担当)) 堂下浩 (東京情報大学・教授) 担 当 部 局： 千葉市教育委員会事務局教育総務部企画課、 千葉市立稲毛高校
<p>1. プロジェクトの目的</p> <p>昨年度に引き続き、千葉市立稲毛高校と高大連携を目指し、千葉市に位置する本学が地域貢献できる大学として、稲毛高校との連携をより一層深くする。また、連携を通して、大学生と高校生の交流がより一層深まり、相互の成長を高めあう関係を期待する。</p> <p>更に、大学での研究活動が、大学と高校を結ぶパイプになり、千葉市における教育レベルが高められることを目的とする。</p> <p>2. プロジェクトの実施内容</p> <p>1 月 5 日(金) ナイジェリア大使館を訪問</p> <p>稲毛高校の 15 名の高校生と本学の学生及び特別研究員 6 名、校長、教頭が参加。行きのバス内にて、鈴木が「ナイジェリア大使館での異文化社会での勤務」、「英語との関わり」について話し、ナイジェリアの文化と一般的知識について講義。</p> <p>到着後、政務参事官、チンウェ ンウェイグウエによる、ナイジェリアの政治、経済、文化についての講義を聞き、質疑応答。今年度は、鈴木が通訳。後半は、英語でナイジェリアについて全員が英語で質問した。外交官としての仕事に非常に興味を持ち、多くの質問がなされた。大学生、高校生にとって国際社会で働く環境を身近に感じることができ、今後の英語教育にも生かされることを感じた。</p> <p>12 月 19 日(火) 「総合的学習の時間」におけるクラス発表に関わる指導助言 各班の準備状況参観・指導助言・リハーサル参観指導助言・講評</p> <p>1 学年総合学習の成果発表の指導助言。テーマは、千葉市の環境問題、放置自転車、海・川に関する環境問題、ごみ問題、交通問題等、様々なテーマをグループで調査した。その後、取り纏め、資料作成、発表の準備をした。内容についての助言及び、発表の仕方についての指導をした。</p> <p>1 月 16 日(火) 「総合的学習の時間」各クラス代表班の発表参観 指導助言・審査・講評</p> <p>各クラス 6 チーム発表後、一番評価の高いチームが 1 チーム選ばれ、各クラスの代表班が 8 チーム選出された。</p>	

### 3. プロジェクトの成果

2016年度から開始した稲毛高校との高大連携を通して、高校における「総合的学習の時間」に引き続き参加することができた。参観、実際の指導助言、審査員、講評に関わることにより、より深く高校教育の内容が理解できた。稲毛高校が目標に掲げている、「問題解決の主体的・協働的に取り組む力を育成し、生徒の自己肯定感やチャレンジ精神を向上させる」、「将来、地域やグローバル社会の発展に貢献する生徒を増加させる」に基づいた事業に東京情報大学として、高大連携で密接に関わることで、連携が強まった。実際に関わることにより、高校教育の変化に気づくことができた。生徒の主体性を向上させる指導をしており、机上の学問ではなく、地域に根差した教育、地域貢献、社会貢献できる学びを目標に実施されていた。高大連携において、大学に入学してくる学生が、高校においてどのような教育を受けてきたかを理解することで、大学における教育の質及び内容も向上してくると考える。

ナイジェリア大使館での異文化経験も、語学の習得のみではなく、異文化を理解し、異文化を許容できる寛容性が身につき、高校生と大学生の視野及び知識が確実に広がり、深まったことが感じられた。

以上